
第 43 期 中間株主通信

2012年 4 月 1 日から
2012年 9 月 30 日まで

 **山梨コンピュータ工業株式会社**

JASDAQ (証券コード 5935)

● トップメッセージ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げますとともに、当社第43期第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期累計期間における日本経済は、復興関連投資やエコカー補助金再開の効果はあるものの、海外経済の減速や日中摩擦を受け、景気の足踏状態ないしは後退局面にはいりました。

また、建設業界においては、2011年度第3次補正予算の執行が本格化したことから、東日本大震災の被災地を中心に公共投資が増加しており、市場環境は緩やかな回復方向にあるものの、企業収益の下振れなどを受けて民間設備投資の足取りは弱いものでした。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、従来の金属屋根では対応できなかったビル・マンションへの防水屋根のほか、高機能・高品質屋根の普及に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,764百万円（前年同期比15.1%増）となり、その内訳は、製品売上高が2,320百万円（前年同期比18.5%増）、請負工事高が1,444百万円（前年同期比10.1%増）となりました。損益面におきましては、営業損失は9百万円（前年同期は156百万円の損失）、経常損失は32百万円（前年同期は188百万円の損失）となりました。

また、特別損失として、投資有価証券評価損55百万円を計上した反面、繰延税金資産の増加による法人税等調整額26百万円を計上したことから、四半期純損失は75百万円（前年同期は201百万円の損失）となりました。

第3四半期以降は、東日本大震災の被災地において、復興に向けた本格的な取り組みが始まるものと予想されます。当社も「震災復興プロジェクトチーム」を中心に、社会の一員として当社の果たすべき使命と役割をこなし、復興事業に貢献いたします。

さらに、原子力発電の停止による電気料金の値上がりという大きな負担が社会にかかる状況のなか、太陽光発電の重要性が増しております。当社は20年以上前から屋根一体型ソーラーシステムの開発を手がけ、今日まで技術とノウハウを蓄積してまいりました。今年発売しました、両面発電ソーラーシステム「サン・ボース」、太陽光パネル裏面の滞留した高温空気を排出して太陽光パネルの温度上昇による発電効率の低下を抑制すると共に、雪止め機能により落雪を防ぐ安全第一を考慮した「元旦ウイング・空気流動システム」は、新しいソーラーシステムとしてユーザー様の期待に添える新製品と自負いたしております。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役社長
弘 木 亮 亮

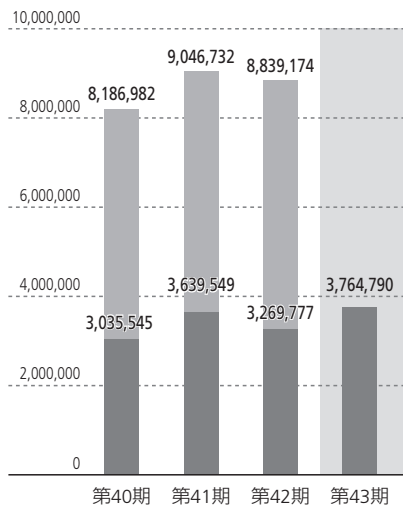
● 財務ハイライト

■ 期末数値

■ 第2四半期累計期間数値

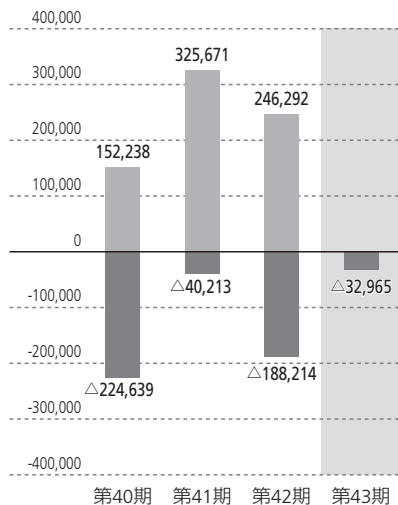
● 売上高

(単位：千円)



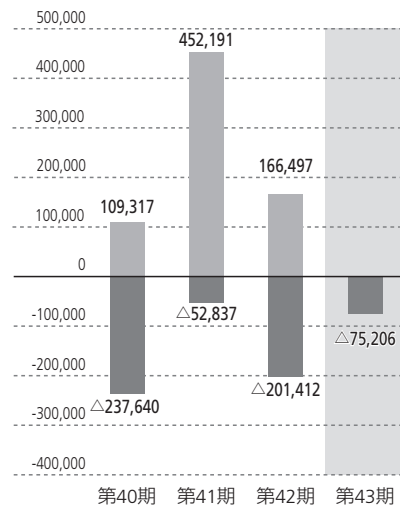
● 経常利益

(単位：千円)



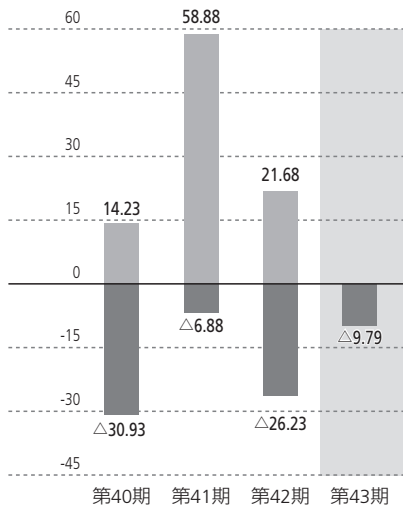
● 四半期（当期）純利益

(単位：千円)



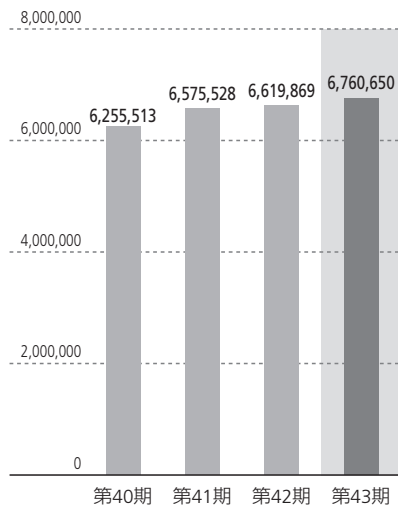
● 一株当たり四半期（当期）純利益

(単位：円)



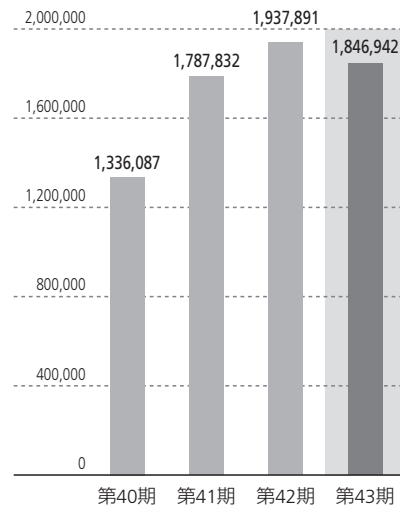
● 総資産

(単位：千円)



● 純資産

(単位：千円)



● 四半期財務諸表

四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 平成24年9月30日現在
(資産の部)	
流動資産	3,709,778
現金及び預金	359,639
受取手形及び売掛金	1,334,288
完成工事未収入金	572,564
製 品	402,065
仕 掛 品	8,987
未成工事支出金	138,266
原 材 料	592,902
そ の 他	303,524
貸倒引当金	△2,460
固定資産	3,050,871
有形固定資産	2,675,292
建 物	563,309
機 械 及 び 装 置	190,684
土 地	1,795,133
そ の 他	126,164
無形固定資産	42,079
投資その他の資産	333,500
そ の 他	492,422
貸倒引当金	△158,922
資 産 合 計	6,760,650

科 目	当第2四半期 平成24年9月30日現在
(負債の部)	
流動負債	3,682,037
支払手形及び買掛金	1,613,389
工 事 未 払 金	291,340
短 期 借 入 金	1,442,372
1年内償還予定の社債	35,000
未払法人税等	17,256
製 品 保 証 引 当 金	38,271
そ の 他	244,407
固定負債	1,231,670
社 債	127,500
長 期 借 入 金	773,610
退 職 給 付 引 当 金	316,658
そ の 他	13,902
負 債 合 計	4,913,707
(純資産の部)	
株主資本	1,847,405
資 本 金	1,266,921
利 益 剰 余 金	596,124
自 己 株 式	△15,640
評価・換算差額等	△462
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△462
純 資 産 合 計	1,846,942
負 債 ・ 純 資 産 合 計	6,760,650

● 四半期財務諸表

四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成24年4月 1日～ 平成24年9月30日
売上高	3,764,790
売上原価	2,581,190
売上総利益	1,183,600
販売費及び一般管理費	1,192,985
営業損失(△)	△9,385
営業外収益	11,573
受 取 配 当 金	4,521
仕 入 割 引	1,246
そ の 他	5,805
営業外費用	35,153
支 払 利 息	16,852
手 形 売 却 損	7,757
そ の 他	10,543
経常損失(△)	△32,965
特別損失	55,302
投 資 有 価 証 券 評 価 損	55,302
税引前四半期純損失(△)	△88,268
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	13,126
法 人 税 等 調 整 額	△26,187
四半期純損失(△)	△75,206

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成24年4月 1日～ 平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△773,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	781,414
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,583
現金及び現金同等物の期首残高	362,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	336,552

● 会社の概況

概要 (平成24年9月30日現在)

創業年月日 昭和40年4月10日

設立年月日 昭和46年4月26日

資本金 1,266,921,109円

主な事業内容

- (1) 金属屋根製品等の製造販売および設計施工の請負
- (2) 太陽光発電システム、屋上緑化システムの製造販売および設計施工の請負
- (3) シート防水屋根材の製造販売および設計施工の請負

従業員の状況

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
246名	42.1歳	12.0年

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数 29,160,000株

発行済株式の総数 7,716,063株

株主数 362名

大株主 (平成24年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
船木元旦	1,986千株	25.8%
船木商事有限会社	724	9.4
船木清子	631	8.2
全国元旦代理店持株会	547	7.1
元旦ビューティ工業従業員持株会	329	4.2
関東甲信越元旦会持株会	302	3.9
元旦取引先持株会	289	3.7
日鉄住金鋼板株式会社	251	3.2
東北北海道元旦会持株会	228	2.9
株式会社横浜銀行	165	2.1

(注) 持株比率については、少数点第二位以下を切り捨てて表示しております。また、自己株式(40,216株)を控除して算出しております。

事業所一覧 (平成24年9月30日現在)

本社	神奈川県藤沢市湘南台一丁目1番地21
東北支店	仙台営業所、盛岡営業所、福島営業所、北海道事務所
東京支店	東京営業所、千葉営業所、高崎営業所、埼玉営業所、新潟営業所、神奈川営業所、甲信営業所
中部支店	名古屋営業所、静岡営業所、北陸事務所
大阪支店	大阪営業所、京都営業所
中四国支店	岡山営業所、広島営業所、四国営業所
九州支店	福岡営業所、熊本営業所、沖縄事務所
工場	福島工場、山梨工場、岡山工場
その他	白州技術センター

取締役および監査役 (平成24年9月30日現在)

地位	氏名	担当および主な職業
代表取締役会長	船木元旦	
代表取締役社長	船木亮亮	海外事業部長
専務取締役	室岡正己	管理本部長
取締役相談役	成田修一	
取締役	坂本浩	営業本部長兼営業管理部長
社外取締役	遠山一徳	
常勤監査役	長島隆夫	
社外監査役	早川治子	弁護士
社外監査役	増田一郎	

● トピックス

安全第一・雪止め兼用 「元旦ウイング・空気流動システム」新発売

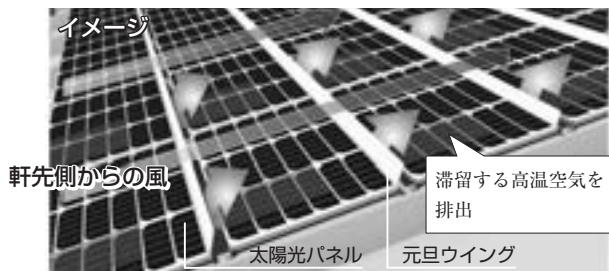
屋根に設置した太陽光パネルの温度上昇による、発電効率低下を抑制する新しいソーラーシステム「元旦ウイング・空気流動システム※1」の発売を開始いたします。

同システムは、屋根に太陽光パネルを設置する際、隙間を設けると共に新開発した「元旦ウイング」を用いることで、自然の風力のみで太陽光パネルと屋根の間に滞留する高温空気を外部に排出（換気）させ、太陽光パネルの温度上昇による発電効率低下を抑制します。

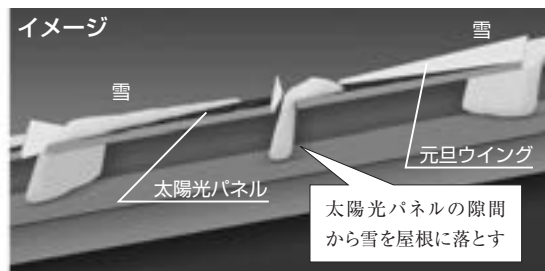
また、「元旦ウイング」は雪止めの役割を果たします。「元旦ウイング」でブロックした雪は、太陽光パネル間の隙間から屋根上に落ちるため、雪の急滑落による事故を防止する安全第一のソーラーシステムです。

今後ますます成長する太陽光発電市場に対して、屋根技術を駆使した高付加価値製品を武器に他社との差別化を図ります。

※1 「元旦ウイング・空気流動システム」は各種メーカーの太陽光パネルに対応可能です。



換気機能により太陽光パネル裏面の高温空気を排出



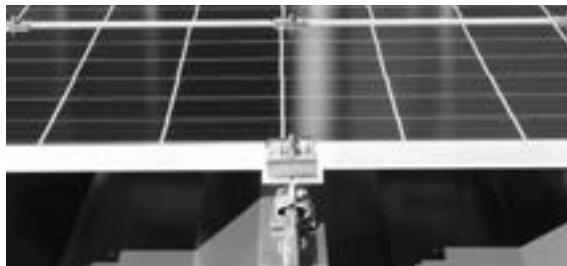
落雪を防ぎ事故防止

太陽光パネル取付金具をラインアップ 電設資材商社・電気工事会社に拡販

ここ数年、大幅な拡大傾向にあります公共・産業用の屋根置き型ソーラー発電に対して、太陽光パネルの設置を金具のみで簡単に施工できる「サンピカ」や、太陽光パネル間のジョイント下部（下層）に樋の役割を果たす縦棧を設けて、万一の雨水の浸入も既存屋根面に接することなく屋根外部（軒先側）に排出する「サンパステム」でニーズに応じてまいりましたが、このたび当社の屋根材以外（ハゼ式折板屋根、重ね式折板屋根、瓦棒屋根、立平葺き屋根）に対応した太陽光パネル取付金具を新たにラインアップ化して、電設資材商社や電気工事会社への材料供給を図ります。既に春先より試験販売を実施しており、価格と機能の両面より高い評価をいただいております。現在、引合も多数はいており、今期売上高1億円を目指してまいります。



ハゼ式折板屋根用PV取付金具



ハゼ式折板屋根取付事例

● 株主メモ

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	定時株主総会関係 3月31日 その他、必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所ジャスダック市場
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載します。) http://www.gantan.co.jp/ir/index.html ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。

当社ホームページのご案内



<http://www.gantan.co.jp/>

株主・投資家の皆様のお役に立てるよう、決算情報やさまざまな会社情報を当社のホームページに掲載しております。今後とも一層の内容充実に努めてまいりますので、ぜひご参照ください。



GANTAN BEAUTY INDUSTRY CO., LTD.

本社 〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台一丁目1番地21
TEL. (0466)45-8771 FAX. (0466)45-3031